

まほらいな市民大学の様子
令和5年6月29日(木)

『 学生自治会自主講座（学生による手作り講座） 』

第1部『故郷の山「駒ヶ岳」を考察する』 講師 25期生 原 正章 氏

第2部 映画鑑賞『アフガニスタン 中村 哲の軌跡 荒野に希望の灯をともし』



【学生の感想から】

<第1部>

- 「駒ヶ岳」が校歌にある上伊那の学校が小・中・高の中で非常に多いのは驚きました。しかも長野県で2番目に多いということ。それだけシンボリックな存在なんだと思います。大変興味深い話でした。
- 常に何げなく見上げていた駒ヶ岳にもいろいろな歴史や名前の成り立ち等があったのだとわかり、見方も少し変わりました。
- 駒ヶ岳という故郷の山を改めて見なおした気がします。裏になった伊那ですが、素晴らしいことになりました。
- 木曾駒ヶ岳の考察、とてもおもしろかったです。考えたこともなかったことに気づかせてくれました。
- ずっと信州に住んでいる私には、何故？と感じていても調べずに過ごしてきた疑問の答えを知りました。長く故郷を離れた原さんならではの解説で、興味深く聞かせてもらいました。
- 原さんのお話から、自分の暮らすこの伊那の地をまた違った視点から見直すことができました。
- 駒ヶ岳を身近に感じました。
- 毎日見ている中央アルプス、南アルプス。何故木曾駒ヶ岳なのか？歴史的に東山道があり、中山道は木曾を通り宿場があった。何げない地名にも理由があることがわかった。
- 「伊那」をどう説明したら全国の人に伝わるか。切り口に駒ヶ岳を選び、歴史には表と裏があると人生論として話してもらえました。切り口次第でいい物語になりました。ありがとうございます。



<第2部>

- 中村哲さんのアフガニスタンでの活動を知り、改めて生きること、平和を守ることの大切さを考えさせられました。私たちがウクライナにできることは武器を送ることではなく、一日も早く戦争を止め、人々に普通の暮らしができる用にとすることだと思います。もっともっと多くの人に、特に政治にかかわる人にこの映画を観てほしいです。
- 中村医師を暗殺する理由が一体どこにあったのでしょうか。いつも解けない謎です。前半の医療現場の映像では溜息ばかりでした。後半の水路建設では、奇跡を実現したのは感動ばかりでした。素晴らしい人生です(無念の死以外は)。
- 中村哲さんの映画を観られてよかった。この企画に感謝します。自分に何ができるか、どう生きるか、考えていきたいと思います。
- 映画はすべての為政者に観てほしいと思いました。こんなにも素晴らしくも、愚かしくもなれるのが人間というものなのだと。
- 自分の人生をかけて、他国のため、貧しい難民のために働いた中村哲さんの生き方に、ただただ共感するしかできません。
- 素晴らしい映画が観られて良かった。
- 中村哲氏の医師でありながら用水路を完成させ緑の大地に農業を復興させた情熱と努力に敬意をささげたい。素晴らしい人間です。「命を大切にすること」それが本当の平和！心に残りました。
- 中村哲さんの素晴らしさをあらためて身にしみました。人の力はすごい。戦争でなく平和に向けてほしいです。
- アフガニスタンの本当の平和。自然との戦い。砂漠からよみがえった緑の大地。中村哲さんは偉大です。
- 中村哲さんは“人の鏡”です！

- “人は見ようとする物しか見えない” 胸に残る一文でした。
- 自分の一生を命を助ける医師と、水路を通すことに徹した壮大な人生で、比べようもない。自然を相手に試行錯誤を重ねた。人間らしく生きることには力を注ぐ。水は生きる元となるのだ。自然の恵みに感謝し生きる、尊い教えを与えてくれた生涯だった。
- 中村哲さんが亡くなられたニュースで用水路を造った方と認識していましたが、映画を観て、初めていろいろな事実を知りました。平和に感謝し、命の尊さを語っていた方が、このような最期を迎えたことが残念。しかし生きた証がしっかり残されていることに心が救われました。
- 中村哲さんのなした功績に頭が下がりました。人を幸せにするのは武器ではなく、自然との共存、アフガニスタンの人々の生活を守り抜き、幸せを守った素晴らしい人。自己ではなく自他に生きた素晴らしい人。感動しました。このような人が世界に増えたら平和な世界がおとずれると思います。